

奔竄とい官軍逃足あり志を固りしむる
を證しなるべし虎旅ハ二體詩の注に漸
士とあり又武士を虎賁といふ史記周本紀
にも虎賁三千人とあり孔安國曰虎賁勇
士稱也若虎賁言其猛也とあり又晉世嘉
注に賈逵曰天子卒曰虎賁とあり旅ハ此
と訓を後漢に軍旅とあり輜ハふむとよめ
已輜輜とつゝさして又選ハふむとよめり
爲合とい城の集を爲し爲云（勇士を以て
夷賊を討事むれり）爲を虎の踏殺する

と云ふは同しや云法は虎踏の陣といふ
も有り又選ハ孫弘傳贊ハ爲合之衆非吳
蜀之敵とあり

同三十四卷元慶二年秋七月十日癸卯出
羽田飛驒奏曰正五位下守右中辨兼權守
藤原朝臣保則到國察問前之行事運之籌
策遣權掾文屋真人有房左衛門權少尉權
掾清原令望上野押領使權大掾南淵秋卿
等幸上野國見到兵六百余此秋田河南拒
賊於河北又秋田城下賊地者上津野火内